



### チェック

コミュニケーションを妨げる要素、  
反応する能力、  
他の外傷を確認



### 観察する

開眼, 発語の内容, 左右の動き  
を観察



### 刺激する

音声刺激: 会話または大声による指示  
身体刺激: 指先, 僧帽筋, 眼窩上切痕の圧迫



### 評価する

最良の刺激反応に基づいて評価

## 開眼

基準	観察された	評価	スコア
刺激前に開眼	✓	自発開眼	4
会話または大声による指示で開眼	✓	音声で開眼	3
指先の刺激で開眼	✓	圧迫で開眼	2
開眼せず, 他に評価を妨げる因子がない	✓	開眼しない	1
局所因子により閉眼している	✓	評価できない	NT

## 音声反応

基準	観察された	評価	スコア
名前, 場所, 日付を正しく言える	✓	見当識あり	5
見当識はないが明解にコミュニケーションがとれる	✓	混乱した会話	4
明瞭な単語が言える	✓	発語のみ	3
うめき声や唸り声のみ	✓	発声のみ	2
聴取できる反応がなく, 他に評価を妨げる因子がない	✓	発声なし	1
コミュニケーションを妨げる因子がある	✓	評価できない	NT

## 最良の運動反応

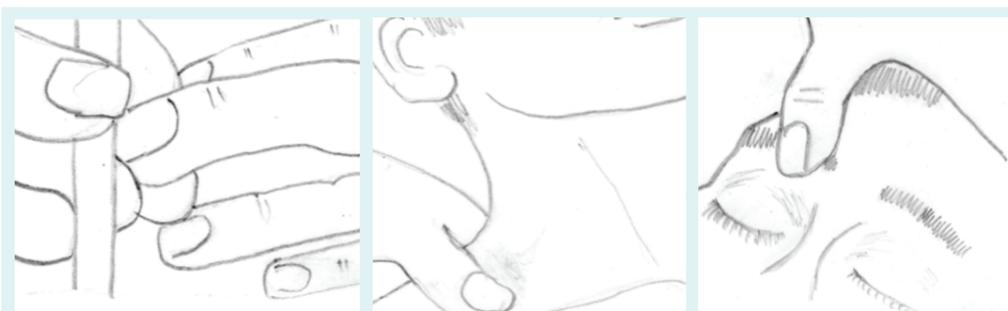
基準	観察された	評価	スコア
2段階の指示に従える	✓	指示に従う	6
頭頸部の刺激に対して鎖骨より上部に手を持っていく	✓	刺激部位がわかる	5
上肢を肘関節で素早く屈曲するが異常屈曲の特徴がない	✓	正常屈曲	4
上肢を肘関節で屈曲するが, 大部分に異常屈曲の特徴がある	✓	異常屈曲	3
肘を伸展する	✓	伸展	2
上肢や下肢を動かさず, 他に評価を妨げる因子がない	✓	まったく動かさない	1
筋弛緩やその他の障害因子がある	✓	評価できない	NT

### 身体刺激の部位

指先の圧迫

僧帽筋をつまむ

眼窩上切痕の圧迫



### 屈曲反応の特徴

許可を得て改変・転載  
(Van Der Naalt 2004 Ned Tijdschr Geneeskd)

#### 異常屈曲

ゆっくりした常同運動  
上肢が胸部をクロスする  
前腕が内旋する  
母指を握る  
下肢を伸展する



#### 正常屈曲

素早い  
変動する  
腕が体幹から離れる